

平成23年度 沖縄海区漁業調整委員会開催状況

開催日時・場所	議 題	内 容				
第 1 回	平成23年4月1日 14時～16時 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(答申) 平成23年度漁業権途中免許漁場計画案に対する答申について (議案1) マナ類資源の保護培養に関する委員会指示について (議案2) 平成23年度浮魚礁敷設承認予定数について (議案3) 浮魚礁の敷設承認について (協議1) ナマコの採捕制限に係る対応の方向性について (報告1) 資源管理・漁業所得補償対策について	平成23年3月1日付けで知事から諮問のあった変更漁場計画案について、公聴会が開かれたが、意見はなかった。その結果を踏まえて、知事に対して意見を行う必要があり、答申案が出され、審議した結果、承認された。 平成23年4月30日をもって、沖縄海区漁業調整委員会指示22号第2号は、期間が満了するため、新たな指示の発動について審議し、原案通り承認した。 浮魚礁の敷設承認基数に関する方針及び今年度の承認予定数の配分について審議し、原案どおり決定した。 知念漁協(新規1基)及び沖縄県(再承認70基)より提出された浮魚礁敷設承認について審議し、すべて承認した。 八重山におけるナマコの採捕制限を、採捕規制、組織強化、資源管理等を内容とする「自主規制」で取り組むことが関係者間で調整されたことを踏まえ、委員会指示による担保措置の可能性について、継続して検討していくことを確認した。 資源管理・漁業所得補償対策についての概要、要件、メリット等が報告された。			
	第 2 回	平成23年5月6日 14時～15時20分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認について (議案2) ウミガメの採捕承認について (報告1) ナマコの自主規制について (報告2) 宮崎との近海かつお漁業申し合わせ運営委員会	8漁協及び5市町村(43基)より提出された浮魚礁敷設承認について審議し、全て承認した。 採捕承認申請が1件(試験研究)について、審議し承認した。 八重山漁協で検討されている自主規制案と、資源管理を担うナマコ生産部会の設立等について報告した。 宮崎かつお船(一本釣り)の不適正な操業がみられており、厳しく追及した。そういった現状から宮崎側が、今後、不適正な操業が行われないために事前通報体制を構築するとの返答を得た。また5月中に両県で会議を持つといったことを報告した。		
		第 3 回	平成23年6月3日 14時～15時40分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認について (議案2) ウミガメの採捕承認について (報告1) ナマコの自主規制について (報告2) 平成25年度漁業権一斉切替スケジュールについて (報告3) ソデイカ漁業の禁漁期に関するアンケート結果(中間報告)	6漁協及び7市町村(56基)より提出された浮魚礁敷設承認について審議し、全て承認した。 採捕申請が1件(試験研究)について、審議し承認した。 八重山漁協は、自主規制を6月下旬開催予定の総会で説明することを報告した。また委員会の知見収集として、藤田委員から最新の分類学的知見を紹介いただいたとともに、7月中旬に徳島大学浜野龍夫教授に生態的知見を御講演いただくこととした。 平成25年年9月1日付け免許に向け、事務手続きを円滑に進めるため、総会で一斉切替スケジュールを説明するよう漁協を指導していることを報告した。 アンケート調査結果から得られた漁船の規模、過去との比較、禁漁期間について報告し、今後の対応案を提示した。	
			第 4 回	平成23年7月1日 14時～16時 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認について (議案2) ウミガメの採捕承認について (議案3) 南大東島及び北大東島海域操業承認について (報告1) ナマコの持続的利用に向けた講演会について	6漁協及び1市町村(30基)より提出された浮魚礁敷設承認について審議し、全て承認した。 採捕申請が試験研究3件、漁業者13件あり、採捕申請について審議し承認した。 環境省受託事業「モニタリングサイト1000」として財団法人自然環境研究センターより提出された南北大東島の沿岸海域における操業承認について審議し、承認した。 徳島大学浜野龍夫教授による講演について日程等詳細を報告した。

	(報告2) ソデイカ漁業の禁漁期に関するアンケート結果	前回で調査から漏れていたものを加え、漁船の規模、禁漁期間についてを報告し、禁漁期見直し派の意見と継続派の意見、流通加工業者の意見を報告した。	
第5回	平成23年8月9日 14時～15時10分 沖縄県庁6階 第2会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認について	2漁協(2基)より提出された浮魚礁敷設承認について審議し、全て承認した。
	(議案2) ウミガメの採捕承認について	ウミガメの採捕申請が漁業者から13件あり、採捕申請について審議し承認した。	
	(答申1) 平成23年度漁業権免許申請に関する適格性等の審査及び免許の可否について	漁業権免許申請に係る沖縄県知事からの諮問について慎重に審議し、原案どおり答申することとした。	
	(報告1) ナマコの自主規制について	ナマコの採捕に係る委員会指示の事例として、長崎県において資源回復計画の一環として発動された長崎県南部海区漁業調整委員会指示を紹介した。	
第6回	平成23年9月2日 14時～15時5分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 研究目的のタイマイを試験養殖に利用することについて	研究目的のウミガメを試験養殖に用いるための譲渡申請がきた場合、承認の判断をするのに必要な資料の内容について審議した。
	(報告1) 浮魚礁の管理状況について	漁協が敷設している表層式浮魚礁の管理状況を報告した。レーダー反射板の設置を引き続き指導するとともに、今後、県の漁業取締船を活用し、浮魚礁の敷設状況を確認することとなった。	
	(報告2) 宮崎かつお船操業時の連絡体制について	沖縄周辺海域における宮崎かつお船操業時の連絡体制について、沖縄県漁業無線協会との調整結果と、宮崎側と有効な通報体制構築に向け調整を継続することを報告した。	
	(報告3) 平成23年度全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議の要望提案等について	昨年の省庁への要望活動の結果について報告した。また、今後とりまとめる要望提案等について、意見を募った。	
第7回	平成23年10月7日 14時～16時 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認について	2漁協(3基)より提出された浮魚礁敷設承認について審議し、全て承認した。
	(議案2) 浮魚礁の承認予定数の追加について	那覇市沿岸漁協より提出された浮魚礁の追加要望について審議し、承認予定数を1基追加することを決定した。	
	(議案3) ソデイカはえ縄漁業の承認について	ソデイカはえ縄漁業者3名の方より提出されたソデイカはえ縄漁業承認申請について審議し、全て承認した。	
	(議案4) 平成23年度全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議の要望提案について	九州ブロック会議の要望提案について審議し、要望提案が決定した。	
	(協議1) 浮魚礁に係る委員会指示の問題点と課題	委員会指示の問題点と課題を協議した。今後、問題点と課題に対する対応案を検討し、次回以降の委員会で引き続き協議することとなった。	
	(報告1) ソデイカ漁業の禁漁期について	禁漁期を延ばす意見が多数を占めるが、禁漁期見直しに反対する漁業者の理解が得られなかったため、次期のソデイカ漁業の禁漁期は例年どおりとなることを報告した。	
第8回	平成23年11月4日 14時～15時45分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認について	2漁協(3基)より提出された浮魚礁敷設承認について審議し、全て承認した。
	(議案2) 浮魚礁の承認予定数に関する方針について	平成24年度の浮魚礁承認予定数に関する方針について審議し、承認した。	
	(議案3) ウミガメの採捕承認について	採捕申請が1件(漁業)提出されており、審議し承認した。	
	(報告1) 南西諸島海域マチ類資源回復計画について	今年度で計画が終了するため、平成24年度以降の取り組み(マチ類広域資源管理体制の方針)について、報告した。	
	(報告2) 漁業権免許一斉切替の方針(案)について	平成25年度の漁業権一斉切替に関する基本方針案を説明し、11月18日(金)を締切として各委員の意見を求めた。	

第9回	平成23年12月2日 14時～15時15分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認について	採捕申請が1件(漁業)提出されており、審議し承認した。
		(協議2) 浮魚礁に係る委員会指示の問題点についての対応策について	浮魚礁に係る委員会指示の改正案の考え方について協議した。今後は、漁業者説明会などで意見を聴き、改正案を作成することとなった。
		(その他)	1中層浮魚礁の撤去技術、2集魚灯作業時の作業灯の取扱い、3委員報酬の見直しについて
第10回	平成24年2月3日 14時～16時10分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認について	採捕申請のあった11件について、審議し承認した。
		(議案2) ソデイカはえ縄漁業承認の承継について	ソデイカはえ縄漁業の承認の承継申請1件について、審議し承認した。
		(協議1) 浮魚礁に係る委員会指示の改正案の骨子について	浮魚礁に係る委員会指示の改正案について協議した。主な改正点は委員会指示の有効期間と敷設承認等期間に整合性を果たすこと、浮魚礁の管理面を従来よりも厳格にするものであった。
		(報告1) 平成24年度以降の南西諸島海域マチ類資源管理について	平成24年度以降、広域資源であるマチ類の資源管理は「南西諸島マチ類広域資源管理方針」で行う計画である。また、県内漁業者から、同方針の記載事項である沖ノ中ノソネ禁漁期見直しの要望があることから、他県漁業者、他県及び国と協議し、調整内容を踏まえて委員会指示改正の手続きを行う旨を報告した。
		(報告2) タイマイ譲渡について	日本べっ甲協会は、西海区水産研究所からタイマイの子を譲り受けて養殖試験を継続する計画を持っており、現在までの進捗状況を報告した。また、前回、委員から資料提供を求められていた今後の事業計画、これまでの研究成果等も併せて報告した。
(その他)	1管区水路通報への浮魚礁情報の登載について、2委員報酬について		
第11回	平成24年3月2日 14時～15時40分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認について	敷設承認申請のあった1件(漁協)について、審議し承認した。
		(議案2) 平成24年度浮魚礁敷設承認予定数について	平成24年度の承認予定数について審議し、決定した。
		(議案3) 浮魚礁の敷設及びこれを利用して行う水産動植物の採捕に係る委員会指示について	平成24年度に新たに出される指示の発動について審議し、承認した。
		(議案1) ウミガメの採捕承認について	採捕承認申請のあった2件(漁業者)について、審議し承認した。
		(議案2) タイマイの譲渡について	独立行政法人水産総合研究センター西海区水産研究所が研究目的で飼育しているタイマイの小ガメ220頭を一般社団法人日本べっ甲協会に譲渡することについて審議し、承認した。
		(協議1) マチ類資源の保護培養に関する委員会指示について	新たな委員会指示の発動について協議した。沖ノ中ノソネの保護期間については、鹿児島県との調整が調い次第、指示変更の手続きを行う旨説明した。